

# 読書のすゝめ

その8

H 30

4 / 20

## 新任の先生紹介⑧

大友あかね先生（1年7組副担・保健体育）



『オーロラの彼方へ』

星野道夫（PHP研究所）

世界的に有名な写真家、星野道夫さんの写真が収められています。アラスカの大自然を撮り続けた星野さんの写真には、感動と驚きがたくさん詰まっています。刻一刻と姿を変えるオーロラや、厳しい自然の中に暮らす動物たちの一瞬の表情。私たちが暮らすこの地球には、スマートフォンの中にはない、美しくも美しい世界が広がっています。ホッと一息、大自然を覗いてみませんか？



沼里民子先生（2年7組副担・国語）



『君はレフティ』額賀澤（小学館）

作者は行方市の出身で作品には地元を想起させる描写が多くあります。この小説はミステリーに引き込まれますが、実は純粋な恋の物語です。

絵本『おこだでませんように』

作 ぐすのきしげのり 絵 石井聖岳（小学館）

主人公は題名のように「怒られませんが」と願っている男子。誰だっけと叱られたくないのに、いつも叱られてしまう男子の気持ちがひしひしと伝わってきます。保育士を目指している生徒さんはもちろん、大人の気持ちも子どももどちらも理解できる感性の豊かな今こそ、触れてほしい絵本です。

絵本『かぜのでんわ』 作絵 いもとようこ（金の星社）

7年前の東日本大震災の後、岩手県大槌（おおつち）町に設置された赤電話は、津波の犠牲になつてしまい、会いたくても会えなくなつてしまつた大切な人に話しかけるための電話です。その実話をもとにした絵本で、私ももう会えない大切な人を思いながら読んでいます。



関口達也先生（1年2組担任・農業）



『パンづくりの失敗と疑問を解決する本』  
坂本りか（ナツメ社）

前任校で「食品製造」という科目を担当していました。パン作りは素人同然だったので、いろいろなパン作りの本を読み勉強しました。その中でも分かりやすい解説されていた本です。焼きたてのパンの味、香りは最高です。是非、パン作りに挑戦してください。



※入学式・始業式から約2週間が経ちました。新しい環境に戸惑うことが多い中で、今週から図書館を利用する生徒さんが徐々に増えてきました。オリエンテーション後、さっそく始業時間前から本を借りに来てくれた1年生がいます。スクールバスを待つわずかな時間でも、図書館を訪れて、本と親しんで欲しいと思います。

※新任の先生方が紹介してくださった本については、可能な限り（絶版では無い限り）本校図書館でもそろえていきたいと思います。